

# 千葉県総合計画

## ～新しい千葉の時代を切り開く～

### 総括評価

令和7年7月

千葉県総合企画部政策企画課

1 令和4年度～6年度の総括評価について

---

2 3年間の成果

---

3 課題と新総合計画への反映

---

4 具体的な事例

---

# 1 令和4年度～6年度の総括評価について

---

## 2 3年間の成果

---

## 3 課題と新総合計画への反映

---

## 4 具体的な事例

---

# 令和4年度～6年度の総括評価について

◆前総合計画の計画期間が令和6年度で終了したことから、例年実施している前年度の政策評価に加え、前総合計画の総括評価を行う

◆総括評価は、P D C A マネジメントサイクルに基づき、「3年間の成果」「課題」「新計画への反映」の3項目で行う



1 令和4年度～6年度の総括評価について

---

2 3年間の成果

---

3 課題と新総合計画への反映

---

4 具体的な事例

---

# 3年間の成果

- ◆ 県民の命とくらしを守るとともに、海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため各種施策を推進
- ◆ 数値目標として掲げた76の社会目標のうち、56指標（73.7%）が計画策定時から進展

施策項目	主な成果（例）	社会目標の進捗率
I 危機管理体制の構築と安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川改修等の防災インフラ整備や河川監視カメラ設置等による流域治水の取組を推進</li> </ul>	75%
II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田空港を核とした国際物流・産業拠点形成への取組</li> <li>高水準な企業立地件数</li> <li>梨やサツマイモ等県産農林水産物の重点プロモーション</li> </ul>	75%
III 未来を支える医療・福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の労働時間短縮に向けた勤務環境の改善支援</li> <li>医療的ケア児等支援センターを設置</li> </ul>	50%
IV 子どもの可能性を広げる千葉の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども医療費の自己負担額の月額上限制度を導入</li> <li>小学校への県独自の専科教員の配置</li> </ul>	86%
V 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の実現のための「多様性尊重条例」を制定</li> </ul>	80%
VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県初の金属スクラップヤード等規制条例の制定</li> <li>千葉県誕生150周年記念事業を県内各地で実施</li> </ul>	70%

1 令和4年度～6年度の総括評価について

---

2 3年間の成果

---

3 課題と新総合計画への反映

---

4 具体的な事例

---

# 課題と新総合計画への反映

## 課 題

- 1 頻発化・激甚化する大規模災害等に備えた危機管理体制の強化と新たな犯罪形態への対応
- 2 本格的な人口減少社会への対応
- 3 成田空港の拡張事業等に伴う波及効果の最大化
- 4 超高齢化時代における医療・福祉・介護ニーズの高まりへの対応
- 5 多様性を活力とし、誰もが活躍できる社会づくり
- 6 独自の自然・文化を生かした魅力の発信と千葉に向かう人の流れの創出



## 新総合計画への反映

これまでの取組の成果や政策評価で把握した課題・分析を踏まえつつ、新計画では、県民の命とくらしを守るため、これら喫緊の課題に迅速・的確に対応するとともに、本県が有する「空」「海」「里」の魅力を磨き上げ、誰もが社会に参加・活躍し、豊かなライフスタイルを実現できる県づくりを加速

1 令和4年度～6年度の総括評価について

---

2 3年間の成果

---

3 課題と新総合計画への反映

---

4 具体的な事例

---

# 具体的な事例 Ⅱ-2-③ 市場動向を捉えた販売力の強化

## 3年間の成果

- 首都圏近郊及び関西圏等の消費地に向け、卸・仲卸と連携した「千葉県フェア」を取扱量の多い量販店等で開催したほか、魅力発信イベントの開催や出展をすることで、県産農林水産物の取扱量増加及び消費者への認知度向上を図りました。
- 令和6年5月に輸出ポテンシャル品目や輸出ターゲット国・地域、成田市場等を活用した輸出の現状と課題、輸出ステージごとの支援の方向性等を整理した「千葉県農林水産物輸出活性化取組方針」を策定し、本方針に基づき、輸出ポテンシャル品目のモデルルート実証や切花、いちごの販路開拓に取り組み、今後の海外販路の開拓に繋げるとともに、令和4年2月に規制緩和がされた台湾において、梨、さつまいも、キンメダイの継続的なプロモーションを実施するなどにより、県産農水産物の更なる輸出促進を図りました。



量販店における「千葉県フェア」



商談会でのブース出展



成田市場

# 具体的な事例 Ⅱ-2-③ 市場動向を捉えた販売力の強化

## 課題

- 近年、個人消費において、ライフスタイルの変化に伴う食の多様化が進むとともに、消費者の購買スタイルが多様化する中、これまでは量販店での販売促進が中心となっており、時代に応じた販路開拓への支援が必要となっています。
- 令和4年1月に卸売市場の機能に加え、衛生管理の整った加工施設や日本初のワンストップ輸出拠点機能を備えた成田市場が開場し、本格的に稼働してきたことから、成田市場及び成田空港を活用した県産農林水産物の更なる輸出拡大が期待されます。



## 新総合計画への反映

- 消費者の食の嗜好や購買スタイルの多様化に対応し、県産農林水産物の更なる販売力強化を図るため、企業と生産者のマッチングを支援するなど、多様な販売チャネルの開拓に取り組むとともに、引き続き、取引量の多い卸売市場と連携した量販店でのフェアを展開し、時代のニーズに応じた県産農林水産物の販売促進を図っていきます。
- 成田市場において輸出に取り組む事業者の商流構築や、成田空港周辺などにおける輸出産地形成など、成田市場及び成田空港を活用した県産農林水産物の輸出拡大に取り組めます。

# 具体的な事例 V-1-① 多様な個性が力を発揮できる社会の実現

## 3年間の成果

- 多様性が尊重され、誰もがその人らしく活躍できる社会をつくるため、「多様性尊重条例」を令和6年1月1日から施行しました。また、令和6年6月には「ダイバーシティ宣言」を実施しました。
- 千葉県ジョブサポートセンターでは、子育て中の女性や中高年齢者等を対象とした再就職支援等を通じて、3年間で延べ3万6千人以上の方が利用し、就職決定者は1,800人以上となりました。
- 働く場における男女共同参画を促進するため、男女がともに働きやすく、能力を発揮できる職場づくりを行う県内事業所を表彰し、優良事例として広く紹介しており、令和4年度から令和6年度にかけて計16事業所を表彰するとともに、取組紹介の動画及び冊子を作成し、周知しました。



「ちばダイバーシティ宣言」の様子



千葉県ジョブサポートセンターの様子



千葉県男女共同参画推進事業所表彰式の様子

# 具体的な事例 V-1-① 多様な個性が力を発揮できる社会の実現

## 課題

- 多様性尊重条例の理念を踏まえながら、あらゆる人が差別を受けることなく、一人ひとりが様々な違いがある個人として尊重され、誰もが参加し、その人らしく活躍することができる社会の実現に向け、県行政のあらゆる分野で施策を推進していく必要があります。
- 令和6年度に実施した県政の世論調査では、県民の51.5%が「ダイバーシティ」の概念を知らないと回答しており、ダイバーシティの必要性については、いまだ県民に浸透しているとは言えない状況です。



## 新総合計画への反映

- 多様性を尊重することが、社会の活力や創造性の向上に相乗的に効果を発揮するとの認識の下、様々な事情により生きづらさを抱えている人に対する相談・支援の充実を図るとともに、多様な人々が活躍することができる環境づくりや人材の育成に取り組むなど、県行政のあらゆる分野において施策を進めていきます。
- 多様性が尊重され、誰もがその人らしく活躍できる社会の形成を推進するため、多様性を尊重することの意義や社会に存在する様々な違いに関する理解が進むよう、広報・啓発に取り組むとともに、企業や団体等が行う多様性尊重の取組を後押ししていきます。